

国語

【解答例】

第1問

- 問1 ア 真理      イ 弊害      ウ 発揮      エ へんちょう      オ あら（い）
- 問2 エ
- 問3 イ
- 問4 知識は他人がすでに考えた結果であり、知識を蓄えるほど他人の考えに頼ることとなるため、自分で考える力がかえって育たなくなるから。
- 問5 日本を代表する企業を作った早川徳次や本田宗一郎は、高等教育を受けなかったがゆえに、知識で思考を肩代わりすることなく、自分の頭で考え、独創的な発明を生み出すことができたという実例。
- 問6 自分で考えずに、すでにある知識や前例に頼つてものごとを済ませようとするため、自分で未知のことを「想像」し、新たに「創造」しようとしなくなってしまうから。
- 問7 人から与えられた知識に頼るのではなく、自分の頭で考え、自分で試してみないとわからない問題であるから。
- 問8 まず実験を繰り返すことによって考える力が育まれ、そこからまだ見ぬ新しい知識が生まれる、というような段階を踏むことで人間は賢くなる存在であるから。

【採点の観点】

- 問4 「『思考力』を育てるプロセス」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問6 「想像」と「創造」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問7・8 筆者が主張する本当の意味での「思考する力」とはなにかを考え、解答に反映させているか。

第2問

- 問1 ア ばんぶつ      イ いぎよ（い）      ウ 悟      エ 尖（先）端      オ 容姿
- 問2 ウ
- 問3 我が創作の      ものであれ
- 問4 リリスが神に消される前に白い波の立つ海辺を歩いていた姿
- 問5 すべてに満ち足りて完結していることが本当の意味で幸福に生きることにはならないという点。
- 問6 イブの溜息は、希望をもちながら、うまくいかずに悲しんだりしての、まさに生きるあかしとして洩れたものだから。
- 問7 独立独歩というような姿でいて、どこかたよりない気持ちを撒きちらしてゆく
- 問8 現代人は何もかも思い通りの、すべてが満ち足りた生活を実現しているが、それは伝説のリリスのように、希望に満ちて生きることを楽しむことのない、決して本当の幸福とはいえないものではないか、という批評。

【採点の観点】

- 問5 神にとっての「失敗作」という意味を考え、解答に反映させているか。
- 問6 リリスとイブのそれぞれの「溜息」の意味の違いを考え、解答に反映させているか。
- 問8 リリスの伝説を踏まえて自分たちの生きる現代を筆者はどのように感じているかを理解し、解答に反映させているか。